

おらが村の文化財 「興禅庵マキの自然門」 (岩滑)



貞永寺から隠居した阿南和尚が興禅庵を建立した時に植えられたと伝えられる樹齢600年のマキは長い年月を経て根回り2.3m、樹高4.9m、枝張り南北7.0m、南西4.8m、目通り1.65m、枝下2.1mの自然門へと成長しました。

昭和50年8月15日には市指定文化財の天然記念物に指定され、桜並木とともにカメラ愛好家のいい被写体にもなっています。

臨済宗妙心寺派の興禅庵は、明治中期には分校としても利用され文字通りの寺子屋として、地元の子供たちの学びの場でした。

時が移り住職も亡くなった今でも4月は花祭り、7月には弘法様への供物とともに地域の人が集まり念仏を上げています。(岩滑の高塚秀吉さん 記)



